

Innovation Opportunities in UK Fintech

September 2020



The UK Fintech Opportunity

本資料には、英国のフィンテック分野の概要と、同分野における日本企業のビジネスチャンスについて記載している。

欧米の多く金融機関がすでに英国のフィンテック企業と提携、投資、ライセンス供与を行っている中、日本企業が英国のフィンテック技術を活用することは、より広範なイノベーション活動や戦略の一環として重要である。

イントラリンクは、英国フィンテック業界の調査や協業に関心のある日本企業を支援するために最適なサポートを提供する。

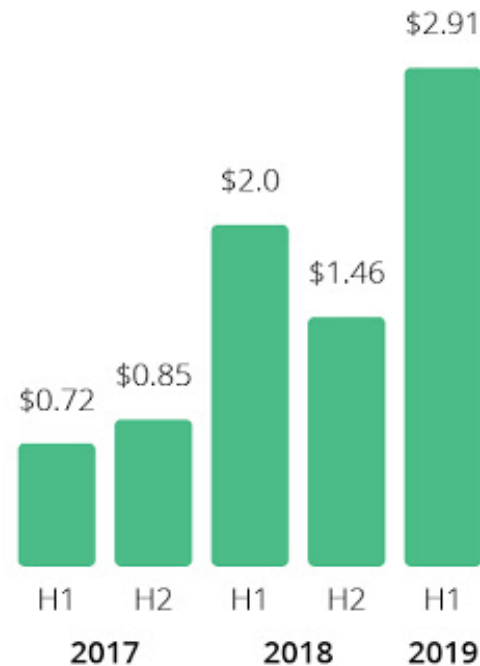


London: The Fintech Capital

- ロンドンを筆頭に、英国は何世紀にも渡ってグローバルな金融業界の強国であり続けてきた。
- ロンドンは、DeloitteとEYの両社からフィンテックの世界的なハブとして単体でランク付けされている。
- 英国のフィンテック企業は2019年に384億ポンドの投資を集め、KPMGによると、前年比で91%増加した。(Medium Fintech, July 2020)
- Brexitは脅威と見られているが、投資動向は、英国のフィンテック分野における主導的地位の継続的な成長と統合を示している。
- ロンドンでは44,000人以上がフィンテック分野で働いており、シリコンバレーやニューヨーク以上に活躍している。

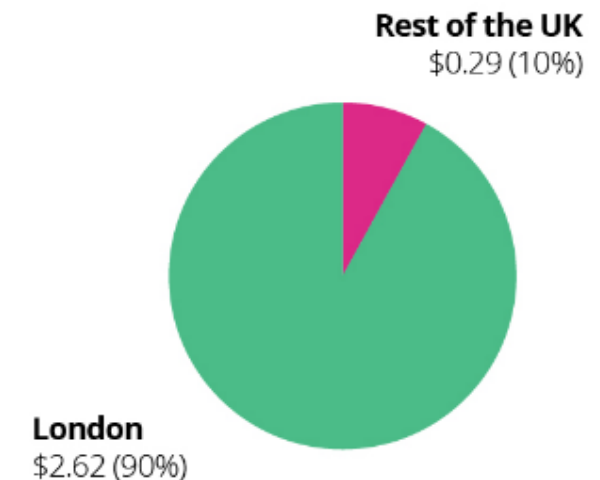
UK FinTech Investment

\$ bn



UK FinTech Investment (H1 2019)

National Investment (\$ bn)



Source: Innovate Finance, 2019

Key Drivers of UK Fintech Development

“先進的な規制政策と要求の厳しい消費者層を通じて、英国はフィンテックイノベーションの温床となった”

- デビットカードの長期的かつ広範的な使用は、技術開発の良いきっかけとなっている。
- 英国の金融機関のキャッシュレス/電子顧客ソリューションに対する先見性のあるアプローチ
- GDPRとPSD2規制によるデータの民主化
- スマートフォンと非接触技術の威力
- IoT/コネクテッドスペース、実現技術、ブロックチェーン/クリプトアセットなどの新興分野



UK Fintech: Key Technologies

Collaborative Tech

既存のプロセス及び機関の改善や増強を目的としたソリューション

自動化ソリューション(KYC など)

サイバーセキュリティソリューション

クレジットスコアリング

プロップテック (住宅ローン検索など)

Disruptive Tech

既存企業の脅威となる、より優れた代替ソリューションを提供するように設計されたモデル

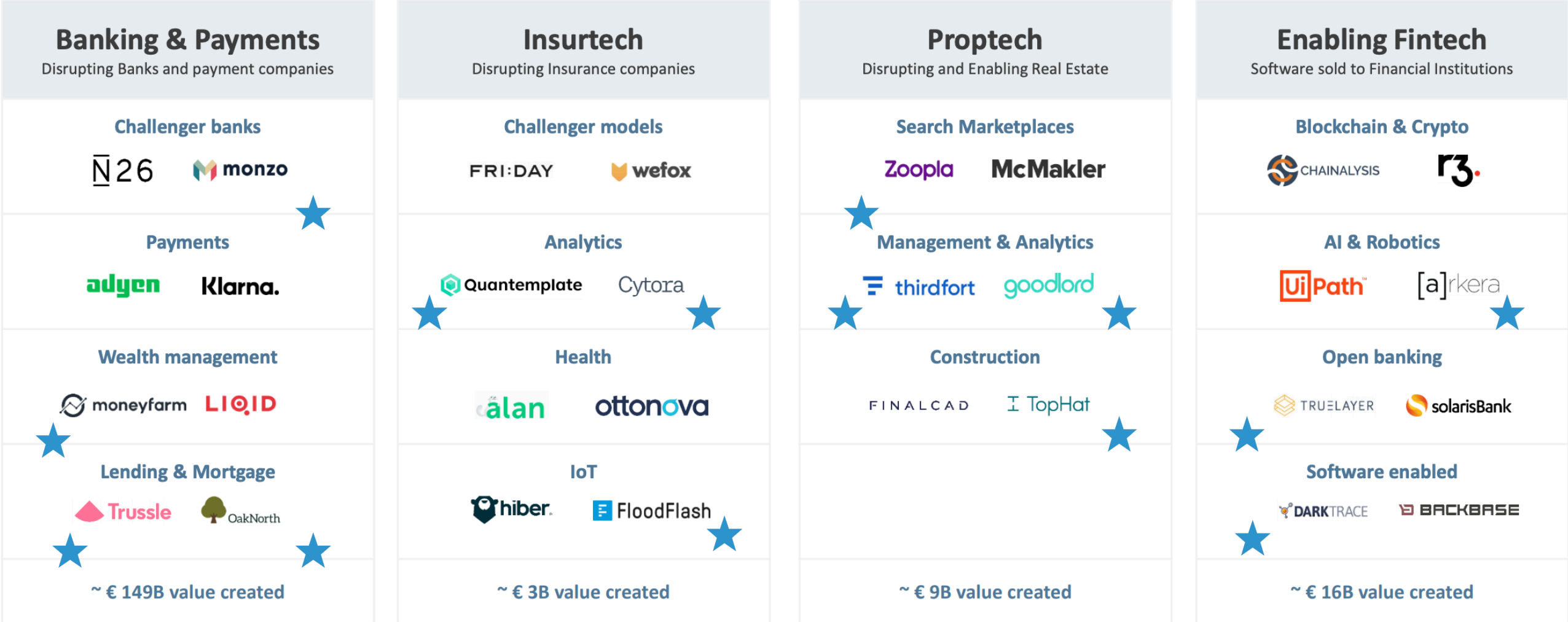
チャレンジャーバンク

一般消費者向けサービス

分散型仮想通貨

サービスのアンバンドリング (FX、貯蓄、投資など) とイネーブルテック

UK Fintechs: global leaders in across the board



Source: Dealroom.co

★ = UK company

UK Fintech: Rising Stars

イネープリングテクノロジー



TrueLayerは独自のAPIを介して、小規模なスタートアップ企業が独自のシステムを構築・設計する必要性を回避しながら、銀行データにアクセスできるようにする。2016年に設立され、現在までに4,600万ドルの資金調達を確保している。

D2C



同社幹部によると、「銀行にとってのCurveは、Netflixとテレビ、Spotifyと音楽と同様の関係性だ」という。Curveは、消費者が単一のカードとPINを介してすべてのカードにアクセスすることを可能にし、最近ではモバイルでSamsung Payと提携している。

チャレンジャーバンク



MonzoやRevolutよりも知名度は低い、「チャレンジャーバンク」であるMoneseは、質の高さに特化したニッチなサービスを切り開いてきた。最近では、シリーズBの資金調達で6,000万ドルを調達しており、出資企業の中にはフィンテック企業であるPayPalも含まれている。

自動化ソリューション



販売者が非接触、チップ&ピン、Google Pay、Apple Payなどのスマートデバイスを使って支払いを処理できるようにするソリューションを開発したPOS (Point-of-Sale) テクノロジー企業。これまでにAmexなどの投資家から3億400万ポンドを調達している。

UK Fintech: Corporate Collaboration Examples



Thought Machine

HQ: ロンドン, イギリス

Solution: クラウドネイティブのコア・バンキング・プラットフォーム

Funding: \$106.6M

Investors: IQ Capital, Lloyds Banking Group, Draper Esprit etc.

Clients: Lloyds Banking Group, Standard Chartered, SEB and Atom bank



- Standard Charteredは最近、新しいデジタルバンキングサービス「Mox」にThought Machineの「Vault」プラットフォームを採用した。
- Vaultはクラウドネイティブなので、より多くの顧客獲得に合わせて、より安価で迅速なスケーリングを可能にする。
- AWS、GCP、IBM Cloud、Azure上で動作する。
- Vaultのプラットフォームは、Moxの銀行機能、貯蓄機能、予算管理機能をサポートしている。



HQ: ロンドン, イギリス

Solution: クラウドベースのワークプレイスオーケストレーションソフトウェア

Funding: \$19.6M

Investors: Index Ventures, Contour Venture Partners, Sussex Place Ventures

Clients: Barclays, Barclaycard, Schrodgers, Cardano, Tesco Bank, and Nationwide



- Nationwide Building Societyは2017年にCutoverの技術をシステムに導入した。
- Cutoverは、「Nationwideのインフラ内に足跡を残さない初の完全クラウド型ツール」である。
- Cutoverのソフトウェアは、チームがイベントを計画、リハーサル、実行することを可能にする。また、リアルタイムでのステータスの可視化や、SMS、音声、電子メールでのメッセージングによるコミュニケーションも可能である。

UK Fintech: Corporate Collaboration Examples



HQ: ロンドン, イギリス

Solution: B2Bクロスボーダー決済のためのクラウドプラットフォーム

Funding: \$160.2M

Investors: BNP Paribas, Sapphire, Anthemis Group

Clients: Visa, Revolut, Standard Bank, Klarna, BrooklineBank



- Docomo Digitalは、国際的なモバイル決済サービスを提供しており、Telefonica、Threeと提携しているほか、Docomoのキャリアでもある。
- Docomo Digitalは、CurrencyCloudの送金APIを利用しているCurrencyCloudの主要顧客の一社として挙げられている。
- CurrencyCloudは、収集、変換、管理、支払いの4つのモジュールで85のAPIを提供している。



HQ: ロンドン, イギリス

Solution: 従業員が事前に給料にアクセスできるようにするオンデマンド給料アプリ

Funding: \$275.7M

Investors: Umbra Capital Partners, IDC Ventures

Clients: London City Airport, Avery Care Homes, Iris Software



- Mitchells & Butlersは、46,000人以上の従業員を抱える英国最大級のレストランとパブの運営会社である。
- 同社は2019年にHasteeのアプリを全従業員に公開し、従業員が1ヶ月間いつでも給与の30%までアクセスできるようにした。
- Hasteeのソリューションは、「貴社のコストゼロ」を謳っており、既存の給与計算ソフトとのシームレスな統合を実現している。

Innovation in Fintech: Starting Points



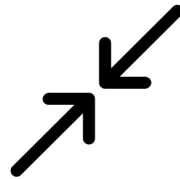
一般的な検査と発見

エコシステムとイノベーションのランドスケープに関する詳細な調査 - セクター/サブセクターのトレンドの発見、ベンチャーキャピタルからの資金調達の追跡、競合他社/カウンターパートのイノベーション活動のモニター、「ホット」な企業や技術を特定する。

Knowledge Up! ✓

New biz development ✓

Process improvement ✓



課題合致

フィンテックのサブセクターとソリューションを、自社のビジネスユニット内で直面している問題と合致させ、各サブセクター/技術を深く掘り下げて、既存の現実世界の問題に最適なソリューションを特定する。

Process improvement ✓



ターゲットを絞ったスカウティング

社内の特定の基準やニーズに基づいて、ピンポイントな技術や企業を具体的にターゲティング・格付けし、優先順位をつけていく。また、トップターゲットとのミーティングと関係構築を行う。

New biz development ✓

Process improvement ✓

Corona Shock: Considerations

“Even before the crisis, some voices were talking about the ‘fintech bubble’, but the pandemic is providing new opportunities to several players in the industry”

– Cass Business School, May 2020

- コロナ危機の中、フィンテックは比較的順調に推移している。調査会社のBeauhurstによると、深刻な影響を受けたフィンテック企業はわずか1%、酷い影響を受けたフィンテックは2%で、高成長企業の17%がこれらのカテゴリーに該当するエコシステム全体と比較しても低い数値である。
- それに対し、フィンテック企業の20%がポジティブな影響を報告しており、そのうちの大多数はAI、自動化、デジタルIDサービスに特化している。
- 現金からのシフトが加速しただけでなく、在宅勤務をする人が増えているため、オンライン・フィンテック・ツールの利用が増えている。
- フィンテックの採用拡大を阻む主な脅威の1つは、サイバーセキュリティ侵害の可能性である。フィンテックプラットフォームへの依存は慎重に管理する必要があるが、これはサイバーセキュリティソリューションベンダーにとってはチャンスを生み出すことになる。
- このコロナ危機の回復段階では（2008年以降と同様に）、経済の健全性の回復を確実なものにするために更なるデジタル・トランスフォーメーションが不可欠であり、フィンテック企業と伝統的な機関の間での協力が強く求められることになるだろう。

So why the UK for Fintech?

- 英国は、国内外の優秀な人材と資本へのアクセスに優れており、世界のフィンテック領域をリードし、強力かつ持続的な成長を示している。
- ロンドンでは18のフィンテックユニコーンが誕生しており、このセクターには質の高いスタートアップ企業が多いことがわかる。
- フィンテックは、協調的なものから破壊的なものまで幅広い分野をカバーしており、その応用範囲は金融企業に限定されない。
- フィンテックや英国のテック業界はこれまでのところBrexitの影響を比較的受けておらず、多くの英国フィンテック企業が今後の市場開拓やコラボレーションのためにアジア市場に目を向ける可能性が高いと考えられる。
- コロナウイルスのパンデミックは、英国フィンテック企業にはそれほど大きな影響を与えておらず、むしろ、多くの企業がポジティブな影響を報告している。
- このように幅広いソリューションを持つ英国のフィンテック企業は、日本企業との協業、投資、商業化への可能性の高い機会となっている。





James Francis

Program Director, London Office

T: +44 (0)7740 558 503

E: james.francis@intralinkgroup.com

www.intralink.co.jp

